

市原幼稚園

日時：平成 19 年 1 月 12 日 (月) 13:00 ~ 17:00

平成 19 年 1 月 16 日 (金) 9:00 ~ 17:00

場所：東近江市市原野町 3 6

市原幼稚園から歩いて 10 分程の所に市原野白鳥神社があります。最初神社の森の中に入ったとき「おばけが出そう」と言っていた子どもたちですが、プログラムが始まったとたんに妖精の世界に引き込まれていき、楽しい森になりました。

プログラムを作る前に下見に行きました。



下見は、風の強い小雨の降る寒い日でした。木の葉と同じ葉っぱを探し、におったり、ルーペで見たりし、支援者の五感を呼び覚まします。



自然物ジャンケンや木触り鬼、「タッチタッテ何にタッチ」など園で普段しているゲームを自然物でし、あそびが広がりました。

園に帰り、下見をしてきたことを土台にプログラムを作ります。一番悩む時間です。



「キッコロからの手紙」のプログラム

木の妖精キッコロから「宝物を落としたので探してほしい」という手紙が届きました。カードに書かれた 6 種類の宝物を探します



手みたいなおっきな葉っぱやなー。



緑の実、みつけた！

あっ！緑と赤の実が合体してる!!



それぞれのグループで探した宝物を見学します

実で何ができるんだろう？

妖精に教えてもらった「どっちだ」のゲームであそびます。

この実ツルツルや！

こっちだ

どっちだ



犬かな？



木になるから、実をうめよう。



妖精キッコロから「みんながみつけてくれた宝物(実)は、やがて芽が出て大きな木になり、また葉っぱや実ができるんだよ。だから大事にしてほしい」とお手紙に書かれていました。宝物は一つだけ持って帰り、あとはキッコロに返しました。

木の下に返そう。キッコロ、気づいてくれるかな？



「秋の自然であそぼう」のプログラム

木にエプロンように、ビニールを巻きます。そこに、様々な形や大きさの葉っぱを探して、貼り付けていきます。



はっぱ
っぱ
ー!!



年中グループ

顔になる
な~!

目みた
いや!

年長グループ

髪の毛に
なるで!!

葉っぱを並べて
数を数えました

葉っぱを一枚拾い、「葉っぱっぱー」ジャンケンをしました。勝ったら葉っぱをもらいます。葉っぱの数を競います。



うわあ
ー!
ほんとうや!!



上を見て
ごらん。
この木喜
んだはる
みたい
ね。

さあー座っ
て、この土
をさわっ
てみよう。

木は土のご飯と水
と太陽のおかずを
食べています。



土って気
持ちいい
なー。

ここに座っ
ても気持ち
いいで!

幼稚園に木の
エプロンを持
って帰り、貼り
付けた葉っぱ
がどのように
変化していく
のか観察する
ことになりました。

ふりかけ
のにおい
がする!

木と葉っぱ
でできてる
んや!

木って、結婚して
いるのかなー?

声

参加された先生の

ここまで自然体験のねらいを持って保育をしていなかった。自然の中では子どもたちはいろいろな言葉を発し、また感じることも多かった。「うおーたんの自然体験プログラムを活用していきたい。

神社に行ったとき、きれいに掃除されていて自然がないと思ったが、それは間違いだった。多くの気づきや発見があり、子どもたちに自然の大切さを伝えて行かなくてはいけないと思った。自然の恵みを意識して保育をしていきたい。

先生という仕事は、子どもたちや保護者に大切なことを伝えていく大きな役割をしているのだと改めて感じた。

今までは自然を楽しむことで満足していたが、自然の大切さや概念を伝え、園や家庭に帰ってからどう活かしていくか考えていきたい。

Q & A

(解答: 講師 島川武治(しまっち))

Q: 今回6つのテーマで宝物探しをしましたが、どういうテーマで探し物をするとう効果的でしょう。

A: ねらいにもより違ってきますが、形や大きさなど一つの感覚だけではなく、ネバネバしたもの、いいにおいのするものなど「みる」「きく」「ふれる」「におう」「味わう」など五感を入れたものがよいでしょう。そして一つは自由度を増すテーマを入れるとよいでしょう。例えば、不思議なもの、すごいものなどです。